

2025 年度秋季入学
2026 年度春季入学

弘前大学大学院農学生命科学研究科
(修士課程)

学生募集要項

2025 年度秋季入学

一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

2026 年度春季入学

一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

弘 前 大 学

目 次

2025年度秋季入学者学生募集要項

(一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜)

I. 募 集 人 員	1
II. 一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜	1
1. 出 願 資 格	1
2. 出 願 手 続	2
3. 選 抜 方 法 等	3
4. 合 格 発 表	4
5. 入 学 手 続 等	4
6. 個 人 情 報 の 取 扱 い	4
7. そ の 他	4

2026年度春季入学者学生募集要項

(一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜)

I. 募 集 人 員	6
II. 一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜	6
1. 出 願 資 格	6
2. 出 願 手 続	7
3. 選 抜 方 法 等	8
4. 合 格 発 表	9
5. 入 学 手 続 等	9
6. 個 人 情 報 の 取 扱 い	9
7. そ の 他	9

研究科案内

1. コース・分野別研究分野の研究内容	11
2. 課程修了の認定及び学位	12
3. 社会人入学者に関する長期履修学生制度などについて	13

出願資格審査申請要領	14
------------	----

◇出願用所定用紙

- ウェブサイトからダウンロードするもの
 - 入学志願票等【一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜用】
 - 志望理由書
 - 口述試験免除申請書
 - あて名票
 - 出願書類提出用宛名
- 入試課に請求するもの
 - 払込取扱票
- 志願者が用意するもの
 - 受験票送付用封筒
 - 出願書類送付用封筒 (持参の場合は不要)

「Well-being 学際教育研究プログラム」の開設予定について

弘前大学では地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）に採択されたことを受け、令和8年度より、Well-being 学際教育研究プログラムを開設する予定です。

本プログラムでは、異分野融合型総合知により、グローバル Well-being 共創社会の実現に向けて貢献できる人材の育成に取り組みます。プログラムの詳細は入学後、お知らせします。

弘前大学入学志願者の入学検定料の免除について

弘 前 大 学

災害により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

弘前大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、令和7年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

入学検定料の免除を希望される方は、申請前に必ず学務部入試課までご連絡ください。

1. 免除対象となる入学者選抜試験

令和7年度に実施する学部入試（編入学入試を除く）及び大学院入試（科目等履修生，研究生及び聴講生は対象外となります。）

2. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、**東日本大震災**（平成23年3月11日発生）及び**令和7年度に災害救助法が適用された地域**で被災し、次のいずれかに該当する方

(1) 学資負担者が居住していた家屋（自己所有のものに限る）が、全壊，大規模半壊，半壊，流失と認定された方

東日本大震災においては、岩手県，宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県，茨城県，栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住しており，居住していた家屋が上記の被害認定を受けた方

(2) 学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方

(3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により，帰還困難区域，居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方

※令和7年度災害救助法の適用を受けない地域であっても，罹災証明書等の提出により対象となる場合がありますので，学務部入試課へお問い合わせください。

3. 申請の方法

事前に学務部入試課へ電話等で問い合わせてください。免除対象と判断された方は，所定の申請書に証明書類を添えて，出願書類とともに提出してください。この場合は，出願時に入学検定料を払い込まないでください。

諸事情により出願時まで証明書類が準備できない場合は，一旦入学検定料を払い込んで通常の出願を行い，後日証明書類の準備ができ次第，申請書類を提出してください。許可となった場合は，払い込まれた入学検定料を返還いたします。

4. 申請書類

- (1) 「入学検定料免除申請書」
(本学ホームページからダウンロード (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>))
- (2) 証明書類
 - ① 「罹災証明書」 (コピー可) (上記2の(1)に該当する方)
 - ② 「死亡または行方不明を証明する書類」 (コピー可) (上記2の(2)に該当する方)
 - ③ 「被災証明書」 (コピー可) (上記2の(3)に該当する方)

※ 入学検定料免除の要件に該当するか判断できない場合 (学資負担者が自己所有する家屋かどうか判断が困難な場合など) には、追加で証明書類の提出をお願いすることがありますのでご了承ください。

5. 許可または不許可の通知について

- (1) 許可者には、受験票を送付 (インターネット出願の場合は受験票をダウンロード) することで決定通知書に代えさせていただきます。(一旦、通常の出願を行った後の申請の場合は、入学検定料の「払戻請求書」を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。)
- (2) 不許可者には、別途通知いたします。
この場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。(受験票の送付は、払い込みが確認された後となります。)

6. その他

- (1) 入学検定料の免除申請の手続き (事前連絡を含む) をせずに検定料を払い込んだ場合は、検定料の返還はできませんので、ご注意ください。
- (2) 令和7年度に災害救助法が適用された地域で被災された場合であっても、すでに出願期間が終了している入学者選抜試験については、入学検定料の免除はできません。
- (3) 入学検定料の免除を許可された方であっても、申請に虚偽があった場合は、許可の日にさかのぼってこれを取り消します。その場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。
- (4) 入学料及び授業料の減免等については、本学の「入学料及び授業料の減免等制度」への申請が別途必要になります。
- (5) 本件について、不明の点がありましたら、下記にお問い合わせください。

(本件に関する書類提出先・問い合わせ先)

〒036-8560 弘前市文京町1番地
弘前大学学務部入試課
【大学院入試担当】 TEL: 0172-39-3973
FAX: 0172-39-3125

弘前大学大学院農学生命科学研究科（修士課程）学生募集要項

◆専攻，コース，分野，研究分野及び入学定員

専攻	コース	分野	研究分野	入学定員
農学生命科学	生物学	基礎生物	植物分子生理学，植物生理学，動物生理・分子進化学，発生・生殖生物学，植物細胞生物学，動物発生・形態進化学，原生物微生物学	50名
		生態環境	動物生態学，森林生態学，生物間相互作用学，植物分類学，進化生態学，環境生態学，動物分類学，博物館学	
	分子生命科学	生命科学	分子生物学，生化学・分子遺伝学，天然物化学，免疫生物学，動物生理学，細胞分子生物学	
		応用生命	天然物有機化学，環境微生物学，応用微生物学，生化学，植物生化学，微生物化学	
	食料資源学	食料開発	作物育種学，植物遺伝育種学，作物生理学，構成的微生物学	
		生産環境	昆虫生理学，植物病理学，土壌学	
	国際園芸農学	園芸農学	果樹園芸学，家畜飼養学，家畜生理学，農業機械学，蔬菜園芸学，花卉園芸学，作物生態生理学，作物学，リサイクル工学	
地域環境工学	農業土木・農山村環境	水利環境工学，水利施設工学，農地環境物理学，農地環境保全学，地域環境システム学，基盤造構学，地域環境利用学，地域環境計画学，山地環境保全学		

◆試験実施日程

2025年度秋季入学（2025年10月入学）

選抜方法	出願期間	試験実施日	合格発表日
一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	2025年 6月2日(月)～6月6日(金)	2025年 7月9日(水)	2025年 7月17日(木)

2026年度春季入学（2026年4月入学）

選抜方法	出願期間	試験実施日	合格発表日
一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	【第1期募集】 2025年 6月2日(月)～6月6日(金)	2025年 7月9日(水)	2025年 7月17日(木)
	【第2期募集】 2026年 2月2日(月)～2月6日(金)	2026年 3月2日(月)	2026年 3月6日(金)

弘前大学大学院農学生命科学研究科〔修士課程〕 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

◎農学生命科学専攻

1 概要

農学，生命科学及び環境科学に関連する，広範囲な技術を理解し，熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者，国際的視野をもつ優れた技術者並びに時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

2 求める学生像

- ・特定の専門分野をより深く学ぶ探求心を持った人。
- ・自らの専門分野のみならず，関連の専門分野を含め，より広く専門知識の習得に意欲を持った人。
- ・知識や情報を集めて自らの考えを導き出す課題解決能力の習得に意欲を持った人。

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

農学，生命科学，環境科学に関する基礎学力を有すること。

4 入学者選抜の基本方針

農学，生命科学，環境科学に関する基礎学力，研究に対する探求心，意欲等を評価するために，各選抜（一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜）とも，原則として出願書類を基礎資料とする口述試験により選抜します。

【生物学コース】

1 概要

生物の基本的な生命活動に見られる普遍性と個体の形態や行動に見られる多様性は，DNA にコードされた遺伝情報と周囲の環境との相互作用を通じて形成されます。本コースでは，発生，エネルギー代謝，適応，進化などの生物活動の基本的プロセスの成立要因とそのメカニズムの解明や，個体と環境の相互作用を通じて生成される動的・複合的生態システム及び生物多様性に関する教育研究を行います。さらに，これら学問研究を通じて，生物学分野の研究者，農業や食品関連のバイオテクノロジー技術者，生物・生態系の保全に関わる高度専門技術者の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・ライフサイエンスに強い関心を持ち，基本的な生命現象の解明に挑戦しようとする人。
- ・生物の生態や進化に興味を持ち，生物学を通じて環境問題の解決を目指そうとする意欲を持つ人。
- ・創造性豊かで，何事にも積極的に取り組み，個性的で知的好奇心が旺盛な人。

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

基本的生命現象のメカニズムや生物の多様性，環境適応・進化に関する大学学部程度の知識を有すること。

【分子生命科学コース】

1 概要

数多くの生体分子の化学反応（酵素反応系）により，生命は恒常的・持続的に維持されています。それらの反応系を利用した科学技術の開発は，多方面にわたる次世代の産業の発展につながるものと期待されています。本コースでは，微生物からヒトにいたるまでのさまざまな生物にみられる特徴や機能，物質生産のしくみ，それらの基盤となる生体分子の反応機構等に関する専門的な知識と技術を身に付け，国際的な視野のもと社会で活躍できる研究者，高度専門技術者並びに大学院博士課程へ進学する人材を育成します。

2 求める学生像

- ・生物の機能を分子レベルで解明することに情熱のある人。
- ・新しい分野に果敢に挑戦しようという意欲と積極性を有する人。
- ・成果を人類の福祉に役立てたいという高い理想を持つ人。
- ・既に社会で技術者や研究開発部門の研究者として働いており，更に高度な技術や知識の修得を希望する人。

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

生命科学に関する基礎知識を有すること。

【食料資源学コース】

1 概要

環境と調和しつつ持続的に、地球人口への十分な食料の供給を可能にするために必要とされる、作物の新品種の育種技術、作物の生産に関わる土壌・病害虫管理に携わる高度専門技術者の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・食料資源の開発・利用と生産環境の制御に深い関心のある人。
- ・食料資源とその環境に関する問題の解決能力を研鑽し、修養しようとする意欲のある人。

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

一般生物学，生化学，分子生物学の基礎知識を有すること。

【国際園芸農学コース】

1 概要

国際的視点の元に持続可能で、かつ、多面的機能を維持した農業の確立並びに人間生活の実現を図るために、農業生産技術の開発、農業の活性化、食と環境の改善に貢献する研究を行っています。それらを踏まえ農業生産領域において専門技術と知識を習得させながら、各専門領域の諸問題の発見、解決できる能力、実行力のある高度専門技術者の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・食と農に関わる地域社会や国家的なレベルで生起しているさまざまな問題に関心のある人。
- ・農業技術面並びに社会経済面からの総合的な解決策について学ぶ意欲のある人。
- ・本コースで学んだ知識や理論を基に産業，教育，文化，地域社会等に貢献する意欲のある人。

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

食と農に関わる生産技術だけでなく、その社会経済性にも強い関心を持ち、園芸農学に関する基礎知識を有すること。

【地域環境工学コース】

1 概要

食糧基地として期待される北東北の自然，風土にマッチした持続的発展可能型農業の形成と農村地域社会の定住条件の整備が21世紀の大きな課題となっています。その中では事業計画・実施主体のソフト面の問題の検討も必要となっています。そこで、自然環境の保護・保全にも配慮しつつ、生産基盤の整備・充実，及び地域住民の生活環境の整備と計画手法の開発などに関する教育を行い、高度な専門的知識と技術を持ち、自発的な問題解決能力を備えた高度専門技術者の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・国内・海外を問わず農山村問題や地域環境などの地域的課題に関心を持つ人。
- ・学部段階で学んだ専門分野に拘わらずに課題に必要な分野を柔軟に学ぶ姿勢を持った人。
- ・実践的課題への取り組みをとおして、理論を学ぶ姿勢を持った人。

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

自主的な問題解決能力や論理的な思考能力を身に付けておくとともに、地域環境工学分野に関する基礎知識を有すること。

弘前大学大学院農学生命科学研究科修士課程
2025年度 秋季入学者 学生募集要項
 (一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜)

2025年度秋季入学者(2025年10月入学者)の選抜は、「一般選抜」のほか、特別選抜として、「社会人特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」の方法で行う。

I. 募集人員

専攻	コース	募集人員		
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
農学生命科学	生物学	若干名	若干名	若干名
	分子生命科学			
	食料資源学			
	国際園芸農学			
	地域環境工学			

II. 一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜

1. 出願資格

1-1 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者、または 2025年9月30日までに該当する見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構(大学評価・学位授与機構)から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他大学の大学院に入学した者であって、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めた者
- (10) 次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - ① 大学に3年以上在学した者(休学期間は在学期間に含まない)
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (11) 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者で、2025年9月30日現在で満22歳に達する者

注1) (10)①における学業成績は、以下のとおり。

2年次までに修得する必要がある科目（専門教育科目における必修科目及び教養教育科目のすべての科目）をすべて修得し、かつ、2年次までに修得した単位の評定平均値が2.75以上であること。

なお、入学試験に合格した者であっても、入学料納付の時までに下記の条件をひとつでも満たしていない場合は入学を許可しない。

ア) 3年次までに修得する必要がある必修科目をすべて修得していること。

イ) 3年次までに修得した単位数が124単位以上であること。

ウ) 3年次までに修得した単位の評定平均値が2.75以上であること。

※卒業所要単位数に含めることができない科目（教職に関する科目等）及び単位認定科目は、修得した単位に含めない。

※評定平均値＝（秀及び優の単位数×3＋良の単位数×2＋可の単位数×1）／総修得単位数

※点数評価の場合は、100点～80点＝秀及び優、79点～70点＝良、69点～60点＝可 とする。

1-2 社会人特別選抜

一般選抜における出願資格1-1の各号のいずれかに該当し、かつ、次の各項のいずれかに該当する者とする。

(1) 出願時に官公庁、企業等に在職している者で、入学後もその身分を有する者

(2) 前項以外の者で、入学予定時において、大学を卒業または大学改革支援・学位授与機構（大学評価・学位授与機構）から学士の学位を取得してから3年以上が経過した者

1-3 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で、一般選抜における出願資格1-1の各号のいずれかに該当する者とする（2025年9月30日までに出願資格取得が見込まれる者を含む）。

1-4 出願資格審査

各選抜において、一般選抜における出願資格1-1の(9)～(11)により出願しようとする者は、出願受付開始の1ヵ月前までに出願資格審査を要する。

注) 出願資格1-1の(11)に該当するのは、おもに短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生など、大学卒業資格を有していない者をいう。

2. 出願手続

2-1 出願書類等

出願しようとする者は、入学志願票等の所定用紙を、入試課ウェブサイト（<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>）からダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入すること。

ただし、検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）については、入試課に請求して取り寄せること。

なお、払込取扱票の取扱期間は、出願受付期間初日の1週間前から出願受付期間最終日までとする。

また、所定用紙を印刷できない場合も、入試課まで相談すること。

以下の書類を一括取り揃え所定の期日までに提出すること。

なお、郵送する場合は書留速達便とし、出願書類提出用宛名を印刷し角形2号封筒に貼付の上、郵送すること。

	書類の名称等	摘 要
1	入 学 志 願 書 等	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入すること。 (入学志願書・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付台紙)
2	卒業（見込）証明書	出身学校所定のもの
3	成績証明書（厳封）	出身学校所定のもの
4	志 望 理 由 書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、作成すること。
5	検定料 30,000円	本研究科所定の用紙（ <u>本学に請求して取り寄せること。</u> ）を用い、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で払い込むこと。 注) 海外から外国送金により検定料を納付する場合は、2-3外国送金による検定料の納入方法により手続きすること。 *国費外国人留学生については、検定料を必要としないが、在学する大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出すること。
6	受験票送付用封筒	出願者が用意した長3封筒に、自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付すること。
7	あ て 名 票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、出願者の住所・氏名を記入すること。
8	そ の 他	(1) 他大学の大学院に在学する者は、在学大学院研究科長の受験承諾書（様式任意） (2) 官公庁・企業等に在職している者で、現職のまま本研究科に入学しようとする者は、所属長の受験許可書（様式任意） (3) 日本国籍を有しない者は、市町村発行の「住民票」（受験のために来日する場合は、査証の写し）

	<p>(4) 出願資格, 1-1 (2) で志願する者は, 独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行した学位授与証明書 (授与見込みの者は, 短期大学又は高等専門学校長の学位授与申請 (予定) 証明書)</p> <p>(5) 出願資格, 1-1 (7) で志願する者は, 出身学校長が発行した高度専門士授与 (見込) 証明書</p> <p>(6) 出願資格, 1-1 (10) ① で志願する者で他大学に在学する者については, カリキュラム一覧表等, 授業科目名及び単位数が分かるもの</p>
--	--

※提出書類のうち, 英語以外の外国語で記載されたものについては和訳もしくは英訳を添付する。

2-2 出願期間

2025年6月2日(月)～6月6日(金)必着

窓口での受付時間は各日とも午前9時～午後5時までとする。

2-3 外国送金による検定料の納入方法

次の要領に従って, 検定料 30,000 円を海外の金融機関から送付すること。なお, 送金には時間がかかるので早めに手続きし, 必ず出願期間の最終日までに指定口座に到着するように行うこと。

(送金関連事項)

【送金種類】 電信送金
 【支払方法】 口座振替
 【支払手数料】 依頼人負担
 【送金金額】 30,000 円
 【送金目的】 検定料

(送金先)

【金融機関名】 青森みちのく銀行
 【支店名】 親方町支店
 【口座の種類】 普通
 【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町 19
 【スワフトコード】 AOMB J P J T
 【口座番号】 201-1228599
 【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 福田 眞作
 【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地
 【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

※送金依頼人は志願者の氏名とすること。

※日本国外から振込む場合, 振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要となる。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となる。

※日本国内取引手数料は, 銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定すること。もし指定が行われなかった場合, 青森みちのく銀行で取引手数料が差し引かれるため, 弘前大学への入金不足となる。この場合検定料を支払ったとは, みなされないので注意すること。

※送金後, 送金手続き書類の (写) を他の出願書類と一緒に提出すること。

2-4 出願書類提出先

弘前大学学務部入試課

〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地 (電話) 0172-39-3973・3193

2-5 出願上の注意

- (1) 出願希望者は, 出願前に, 指導を受けようとする教員と電話, e-mail 等で連絡を取り, 入学後の履修内容や要件, 研究等について必ず相談し, 指導を受けること。
- (2) 出願書類に不備のあるものは受理しない。記載事項に記入漏れ, 誤記等のないよう十分注意すること。
- (3) 出願後の提出書類の内容変更 (コースの変更) は認めない。
- (4) 出願後に現住所等に変更があった場合は, 速やかに連絡すること。
- (5) 出願に関して不明な点がある場合は, 入学検定料を払い込む前に, 学務部入試課へ問い合わせること。

3. 選抜方法等

3-1 選抜方法

(1) 一般選抜

入学者の選考は, 出願書類を基礎資料とする口述試験 (注 1) (100 点) により行う。

注 1) 口述試験は, 現在の研究と入学後の計画を発表し, 意欲や基礎学力 (注 2), 計画性等を問い, 時間は 30 分程度とする。発表方法については, 事前に指導予定教員に確認すること。

注2) 弘前大学農学生命科学部において、3年次までに修得した単位の評定平均値2.0以上の学生には基礎学力は問わず、時間は15分程度とする。

※卒業所要単位数に含めることができない科目(教職に関する科目等)及び単位認定科目は、修得した単位に含めない。

※評定平均値 = (秀及び優の単位数×3 + 良の単位数×2 + 可の単位数×1) / 総修得単位数

※点数評価の場合は、100点～80点＝秀及び優、79点～70点＝良、69点～60点＝可とする。

(2) 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜

入学者の選考は、原則として出願書類を基礎資料とする口述試験(100点)により行う。口述試験は、現在の研究と入学後の計画を公表し、意欲や基礎学力、計画性等を問い、時間は30分程度とする。発表方法については、事前に指導予定教員に確認すること。

ただし、指導予定教員の口述試験免除申請書をもって口述試験を免除することができる。この場合、出願書類審査(100点)により選考を行う。

3-2 試験日程

- (1) 試験日時 2025年7月9日(水)午後1時から
(2) 試験会場 弘前大学総合教育棟(青森県弘前市文京町1番地)

4. 合格発表

合格者の受験番号を下記により発表するとともに、合格者には合格通知書を郵送する。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

- (1) 日時 2025年7月17日(木)午前10時(予定)
(2) 方法 弘前大学入試情報ホームページに掲載
URL : <https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>

5. 入学手続等

(1) 入学手続については、合格者に別途通知する。

(2) 入学金について

入学金 282,000円(予定)

※いかなる理由があっても、納付した入学金は返還しない。

※授業料は、年額535,800円(前期分267,900円 後期分267,900円)(予定)である。

授業料前期分は5月31日、後期分は10月31日までに納付すること。

※入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となる。

また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(3) 入学金・授業料免除等について

入学金・授業料免除等に関する情報については、本学HPを確認すること。

令和8年度以降の免除制度については、令和7年度中に改定が予定されているため、十分に留意すること。
(https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/menjo/admission_gs/)

6. 個人情報の取扱い

(1) 出願書類等に記載された、志願者の住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、入学者選抜や教育課程改善のための調査・研究を行うために利用するものとする。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に利用しない。

(2) 欧州経済領域(EEA)に在住する者は、EU一般データ保護規則(General Data Protection Regulation (GDPR))の適用を受けるため、別に手続きが必要となる。事前に下記連絡先に連絡すること。

GDPR適用に係る手続きについての連絡先

弘前大学学務部入試課

電話 : 0172-39-3973 , 0172-39-3193

メール : jm3973@hirosaki-u.ac.jp

7. その他

(1) 身体に障害を有する者で、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする者は、事前に学務部入試課へ申し出ること。

(2) 弘前大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「弘前大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っている。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、出願希望者は、出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談し、指導を受けること。

- (3) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ，麻疹，水痘，新型コロナウイルス感染症等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合は，受験できない。ただし，病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは，この限りではない。
- 上記の理由により受験できなかった場合，追・再試験や別室受験等の特別措置および入学検定料の返還は行わない。

弘前大学大学院農学生命科学研究科修士課程 2026年度 春季入学者 学生募集要項 (一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜)

2026年度春季入学者(2026年4月入学者)の選抜は、「一般選抜」のほか、特別選抜として、「社会人特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」の方法で行う。

I. 募集人員

専攻	コース	入学定員	募集人員		
			一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
農学生命科学	生物学	50名	50名	若干名	若干名
	分子生命科学				
	食料資源学				
	国際園芸農学				
	地域環境工学				

注) 一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜は, 第1期と第2期に分けて2度募集する。

入学志願者は, 第1期と第2期のいずれか, 又は両方を受験することができる。募集人員は, 第1期と第2期の合計数である。なお, 研究分野によっては第2期募集を実施しない場合もあるので, 出願前に必ず確認すること。

II. 一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜

1. 出願資格

1-1 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者, または 2026年3月31日までに該当する見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構(大学評価・学位授与機構)から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において, 学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において, 外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって, 文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について, 当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において, 修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により, 学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他大学の大学院に入学した者であって, 大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めた者
- (10) 次のいずれかに該当する者であって, 所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認められた者
 - ① 大学に3年以上在学した者(休学期間は在学期間に含まない)
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において, 外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって, 文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (11) 個別の入学資格審査により, 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者で, 2026年3月31日現在で満22歳に達する者

注1) (10)①における学業成績は、以下のとおり。

2年次までに修得する必要がある科目（専門教育科目における必修科目及び教養教育科目のすべての科目）をすべて修得し、かつ、2年次までに修得した単位の評定平均値が2.75以上であること。

なお、入学試験に合格した者であっても、入学料納付の時までに下記の条件をひとつでも満たしていない場合は入学を許可しない。

- ア) 3年次までに修得する必要がある必修科目をすべて修得していること。
- イ) 3年次までに修得した単位数が124単位以上であること。
- ウ) 3年次までに修得した単位の評定平均値が2.75以上であること。

※卒業所要単位数に含めることができない科目（教職に関する科目等）及び単位認定科目は、修得した単位に含めない。

※評定平均値＝（秀及び優の単位数×3＋良の単位数×2＋可の単位数×1）／総修得単位数

※点数評価の場合は、100点～80点＝秀及び優、79点～70点＝良、69点～60点＝可 とする。

1-2 社会人特別選抜

一般選抜における出願資格 1-1 の各号のいずれかに該当し、かつ、次の各項のいずれかに該当する者とする。

- (1) 出願時に官公庁、企業等に在職している者で、入学後もその身分を有する者
- (2) 前項以外の者で、入学予定時において、大学を卒業または大学改革支援・学位授与機構（大学評価・学位授与機構）から学士の学位を取得してから3年以上が経過した者

1-3 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で、一般選抜における出願資格 1-1 の各号のいずれかに該当する者、または2026年3月31日までに該当する見込みの者。

1-4 出願資格審査

各選抜において、一般選抜における出願資格 1-1 の(9)～(11)により出願しようとする者は、出願受付開始の1ヵ月前までに出願資格審査を要する。

注) 出願資格 1-1 の(11)に該当するのは、おもに短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生など、大学卒業資格を有していない者をいう。

2. 出願手続

2-1 出願書類等

出願しようとする者は、入学志願票等の所定用紙を、入試課ウェブサイト (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>) からダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ記入すること。

ただし、検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）については、入試課に請求して取り寄せること。

なお、払込取扱票の取扱期間は、出願受付期間初日の1週間前から出願受付期間最終日までとする。

また、所定用紙を印刷できない場合も、入試課まで相談すること。

以下の書類を一括取り揃え所定の期日までに提出すること。

なお、郵送する場合は書留速達便とし、出願書類提出用宛名を印刷し角形2号封筒に貼付の上、郵送すること。

	書類の名称等	摘 要
1	入学志願書等	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入すること。 (入学志願書・写真票・受験票・振替払込受付証明書貼付台紙)
2	卒業（見込）証明書	出身学校所定のもの
3	成績証明書（厳封）	出身学校所定のもの
4	志 望 理 由 書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、作成すること。
5	検定料 30,000円	本研究科所定の用紙（ <u>本学に請求して取り寄せること。</u> ）を用い、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で払込むこと。 注) 海外から外国送金により検定料を納付する場合は、2-3外国送金による検定料の納入方法により手続きすること。 *国費外国人留学生については、検定料を必要としないが、在学する大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出すること。
6	受験票送付用封筒	出願者が用意した長3封筒に、自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、110円分の切手を貼付すること。
7	あ て 名 票	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、出願者の住所・氏名を記入すること。
8	そ の 他	(1) 他大学の大学院に在学する者は、在学大学院研究科長の受験承諾書（様式任意） (2) 官公庁・企業等に在職している者で、現職のまま本研究科に入学しようとする者は、所属長の受験許可書（様式任意） (3) 日本国籍を有しない者は、市町村発行の「住民票」（受験のために来日する場合は、査証の写し）

	<p>(4) 出願資格, 1-1 (2) で志願する者は, 独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行した学位授与証明書 (授与見込みの者は, 短期大学又は高等専門学校長の学位授与申請 (予定) 証明書)</p> <p>(5) 出願資格, 1-1 (7) で志願する者は, 出身学校長が発行した高度専門士授与 (見込) 証明書</p> <p>(6) 出願資格, 1-1 (10) ① で志願する者で他大学に在学する者については, カリキュラム一覧表等, 授業科目名及び単位数が分かるもの</p>
--	--

※提出書類のうち, 英語以外の外国語で記載されたものについては和訳もしくは英訳を添付する。

2-2 出願期間

第1期募集 2025年6月2日(月)～6月6日(金)必着

第2期募集 2026年2月2日(月)～2月6日(金)必着

窓口での受付時間は各日とも午前9時～午後5時までとする。

2-3 外国送金による検定料の納入方法

次の要領に従って, 検定料 30,000 円を海外の金融機関から送付すること。なお, 送金には時間がかかるので早めに手続きし, 必ず出願期間の最終日までに指定口座に到着するように行うこと。

(送金関連事項)

【送金種類】 電信送金
【支払方法】 口座振替
【支払手数料】 依頼人負担
【送金金額】 30,000 円
【送金目的】 検定料

(送金先)

【金融機関名】 青森みちのく銀行
【支店名】 親方町支店
【口座の種類】 普通
【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町 19
【スワフトコード】 AOMB J P J T
【口座番号】 201-1228599
【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 福田 眞作
【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地
【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

※送金依頼人は志願者の氏名とすること。

※日本国外から振込む場合, 振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要となる。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となる。

※日本国内取引手数料は, 銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定すること。もし指定が行われなかった場合, 青森みちのく銀行で取引手数料が差し引かれるため, 弘前大学への入金不足となる。この場合検定料を支払ったとは, みなされないので注意すること。

※送金後, 送金手続き書類の (写) を他の出願書類と一緒に提出すること。

2-4 出願書類提出先

弘前大学学務部入試課

〒036-8560 青森県弘前市文京町 1 番地 (電話) 0172-39-3973・3193

2-5 出願上の注意

- (1) 出願希望者は, 出願前に, 指導を受けようとする教員と電話, e-mail 等で連絡を取り, 入学後の履修内容や要件, 研究等について必ず相談し, 指導を受けること。
- (2) 出願書類に不備のあるものは受理しない。記載事項に記入漏れ, 誤記等のないよう十分注意すること。
- (3) 出願後の提出書類の内容変更 (コースの変更) は認めない。
- (4) 出願後に現住所等に変更があった場合は, 速やかに連絡すること。
- (5) 出願に関して不明な点がある場合は, 入学検定料を払い込む前に, 学務部入試課へ問い合わせること。

3. 選抜方法等

3-1 選抜方法

(1) 一般選抜

入学者の選考は, 出願書類を基礎資料とする口述試験 (注 1) (100 点) により行う。

注 1) 口述試験は, 現在の研究と入学後の計画を発表し, 意欲や基礎学力 (注 2), 計画性等を問い, 時間は 30 分程度とする。発表方法については, 事前に指導予定教員に確認すること。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、出願希望者は、出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取り、入学後の履修内容や要件、研究等について必ず相談し、指導を受けること。

- (3) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合は、受験できない。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではない。

上記の理由により受験できなかった場合、追・再試験や別室受験等の特別措置および入学検定料の返還は行わない。

研究科案内

1 コース・分野別研究分野の研究内容

専攻	コース	分野	研究分野	研究内容	担当教員
農学生命科学	生物学	基礎生物	植物分子生理学	植物分子生理学的手法を用いたラン色細菌や植物の基礎・応用的研究	大河 浩
			植物生理学	植物における葉緑体分化の制御機構の研究	藤井 祥
			動物生理・分子進化学	脊索動物が持つ生理機能の進化に関する研究	西野 敦 雄
			発生・生殖生物学	扁形動物プラナリアの生殖様式転換機構に関する発生・生殖生物学研究	小林 一 也
			植物細胞生物学	植物の細胞分裂と細胞分化を制御する分子機構の研究	笹部 美知子
			動物発生・形態進化学	水産動物（棘皮動物、扁形動物、甲殻類等）の個体発生及び系統進化学的研究	吉田 涉
			原生生物微生物学	原生生物の細胞内共生に関する細胞生物学、生態学的研究	岩井 草 介
		生態環境	動物生態学	野生動物の行動・生態と生息場保全・再生技術	東 信 行
				水生動物の行動、生態、進化学的研究	曾我部 篤
			森林生態学	森林植物の生態と保全に関する研究	石田 清
			動物分類学・博物館学	昆虫類の分類学、標本の収集と博物館資料を用いた生物多様性の研究	中村 剛 之
			生物間相互作用学	植物や節足動物を中心とした群集における生物間相互作用およびその生態学的意義の解明	橋本 洗 哉
			植物分類学	植物の生活史とその進化、分類、保全に関する研究	山岸 洋 貴
			環境生態学	農地における生態系保全や野生動物管理	ムラノ 千 恵
	進化生態学	野生動物（主に小型無脊椎動物）の進化・生態学的研究	森井 悠 太		
	動物分類学	動物（とくに昆虫）の種多様性、系統関係、分布変遷の解明	相馬 純		
	分子生命科学	生命科学	分子生物学	ncRNAの構造と機能、合成に関する研究、Functional RNomics	牛田 千 里
			生化学・分子遺伝学	RNAを擬態するタンパク質の機能・構造解析、タンパク質合成異常回避システムの分子メカニズム	栗田 大 輔
			天然物化学	植物や微生物の生理活性物質の発見とその農業への応用	高田 晃
			免疫生物学	癌の転移に関する研究、マウスの腫瘍細胞株の樹立、細胞運動の画像解析	畠山 幸 紀
			動物生理学	四足動物（とくに両生類）の四肢再生と皮膚再生、器官再生の分子機構の解明	横山 仁
			細胞分子生物学	オルガネラ形成における膜動態の解析、微生物感染によって誘導される細胞内ストレス応答の解析	森田 英 嗣
		応用生命	天然物有機化学	生理活性二次代謝物の探索・合成及びその利用法の開発	橋本 勝
			環境微生物学	自然界に生息する微生物に関する研究	殿内 暁 夫
			応用微生物学	持続可能な化学品・エネルギー生産に向けた微生物機能の解析と有用微生物の分子育種	園木 和 典
			生 化 学	ミトコンドリア電子伝達系の低酸素適応に関する研究	坂元 君 年
			植物生化学	植物や微生物における物質生産の機能解析と応用	濱田 茂 樹
微生物化学			木質・草本系バイオマスの分解に関わる微生物の代謝機能解析	樋口 雄 大	

専攻	コース	分野	研究分野	研究内容	担当教員	
農学生命科学	食料資源学	食料開発	作物育種学	イネ遺伝資源・有用形質の遺伝解析と育種的利用に関する研究	石川 隆二	
			作物生理学	イネ新品種を育成するための有用形質を支配する遺伝子の解析	Dinh Thi Lam	
			植物遺伝育種学	ウリ科作物において見出される有用形質の遺伝解析と育種への利用に関する研究	田中 克典	
			構成的微生物学	複数の微生物で構成されるモデル生態系の構築と微生物間相互作用に関する研究	柏木 明子	
		生産環境	昆虫生理学	昆虫の発育・変態の分子レベルでの研究	金 児 雄	
				昆虫の内部及び外部環境応答遺伝子の研究	管原 亮平	
			植物病理学	菌類の多様性と系統分類に関する研究	田中 和明	
				ウイルス・ウイロイドの病原性と宿主植物の防御応答に関する研究	直井 崇	
		土壌学	強酸性土壌における作物-土壌の相互作用に関する研究	松山 信彦		
			土壌の物質循環にかかわる微生物の機能に関する研究	藤田 一輝		
		国際園芸農学	園芸農学	果樹園芸学	リンゴの単為結果に関わる遺伝子及び花芽形成遺伝子に関する研究	田中 紀充
					バラ科果樹の果実品質評価及び野生種の育種的利用に関する研究	登島 早紀
	家畜飼養学			初期成長期の栄養制御による家畜の生産能力の向上並びに新規飼料資源の機能性評価に関する研究	松崎 正敏	
	家畜生理学			ニワトリを中心とした動物の味覚受容機構の生理学的研究	川端 二功	
	農業機械学			農産物の非破壊品質計測・情報技術の農業への応用に関する研究	張 樹槐	
				リモートセンシングの農業精密管理への応用に関する研究 農産物の品質計測・産地判別・鮮度評価技術などの開発研究	叶 旭君	
	蔬菜園芸学			蔬菜の発育生理、品質向上及び育種、組織培養に関する研究	前田 智雄	
	花卉園芸学			花卉の繁殖・育種及び野生草本の利用や保護・保全	本多 和茂	
	作物生態生理学	作物の環境ストレスに対する耐性遺伝資源の探索とその耐性メカニズムに関する研究、植物による放射性セシウム吸収除去法の確立	姜 東鎮			
	作物学	地球環境変動に対するイネなどの主要作物の応答に関する生理・生化学的研究	小早川 紘樹			
	リサイクル工学	農林産廃棄物等のリサイクル技術に関する研究	廣瀬 孝			
	地域環境工学	農業土木・農山村環境	水利環境工学	国内外の農山村における水資源及び水環境に関する研究	丸居 篤	
			水利施設工学	水利施設の水利設計及び魚道の水利と淡水魚の挙動に関する研究	矢田谷 健一	
			農地環境物理学	積雪地域の普通畑と樹園地における窒素循環機構の解明	遠藤 明	
			農地環境保全学	農地土壌をめぐる水・熱動態の解明・予測及び農地土壌の保全に関する研究	加藤 千尋	
			地域環境システム学	農地及び農業生産基盤を支える各種施設の情報利用と管理・運用	加藤 幸	
			基盤造構学	農業施設構造物の力学的安定と性能機能評価に関する研究	森 洋	
			地域環境利用学	地中熱及び地下水を利用した農業に関する研究	森谷 慈宙	
			地域環境計画学	環境と調和し活力ある農村空間を実現するための整備手法	藤崎 浩幸 (2026年3月退職予定)	
				農村地域での集落機能維持や自然共生に関する社会科学的研究	岸岡 智也	
山地環境保全学	山地における土砂災害防止・流域環境保全や利用についての研究	鄒 青穎				

2 課程修了の認定及び学位

本研究科に2年以上在籍して、授業科目32単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士（農学生命科学）の学位が授与されます。また、社会人入学者の場合、研究指導を受ける教員の承認のもとに、修士論文に代えて研究成果報告を選択することができます。

3 社会人入学者に関する長期履修学生制度などについて

学生が職業を有しているなどの理由により、研究科の標準修業年限の2年を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することを希望する申し出があった時には、その計画的な履修を認めることができる制度を導入しています。

この制度が適用される学生は、社会人で職業を有している者の事情により4年を限度として在学することができます。

なお、長期履修学生として申請できる者は、入学手続者及び1年次在学生在で標準年限で修了することが困難であると判断される者です。許可された場合の授業料の年額支払いは、次のとおりです。

大学が定める授業料年額(535,800円)×2年÷長期履修期間(3又は4年)

また、教育上特別の必要があると認めるときは、夜間その他特定の時間又は時期に授業及び研究指導を受けることができます。

弘前大学大学院農学生命科学研究科

出願資格審査申請要領

1 該当者

秋季入学者にあつては、出願資格 1-1 の(9)から(11)により出願しようとする者 (p.1 参照)
春季入学者にあつては、出願資格 1-1 の(9)から(11)により出願しようとする者 (p.5 参照)

2 提出書類等

No.	必要書類等	摘要
1	出願資格審査申請書	本研究科所定の様式をA4判用紙に片面印刷の上、必要事項を記入 『学習歴、活動歴、実務経歴等』記載欄には、現在までの学習歴、活動歴、実務経歴等（以下「学習歴等」という。）について、具体的に自由形式で記述し、関連する著書、論文、報告書等がある場合は、添付すること。 学習歴等については、下記①から③のような事項が考えられる。 ①短期大学、高等専門学校等における学習歴等 ②研究機関、教育機関、企業等における実務経歴等 ③海外における国際的団体等での活動経歴等及びそれを通じて一定の語学力を有している等
2	申請理由書	申請者が記入（様式任意）
3	卒業（見込）証明書	出身学校所定のもの
4	成績証明書（厳封）	出身学校所定のもの

* 出願資格が認定された場合、3、4については出願時に再度提出を要しない。

* 提出書類のうち、英語以外の外国語で記載されたものについては和訳もしくは英訳を添付する。

3 提出方法

申請書類等の提出方法は、持参または郵送とする。

郵送する場合は、「書留速達郵便」とし、封筒の表に「農学生命科学研究科修士課程出願資格審査申請書類在中」と朱書すること。

4 提出期限

各選抜とも、出願受付開始日の1ヶ月前までに申請書類一式を提出すること。

5 提出先

弘前大学学務部入試課 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
TEL 0172-39-3973・3193 FAX 0172-39-3125

6 審査方法及び結果通知

提出書類による審査を行い、更に必要な場合には電話で照会することもある。出願資格審査の結果は、本人あてに通知する。

7 注意事項

申請書類等提出後における記載事項の変更は認めない。

お知らせ

募集要項の請求について

募集要項及び入学志願票等の所定用紙は、**検定料を払い込むために必要な書類（払込取扱票）を除き**、入試課ウェブサイト（<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp>）からダウンロードできます。

払込取扱票（所定用紙を印刷できない場合は所定用紙も）は、本学に請求して取り寄せる必要があります。

請求は、入試課窓口にて直接請求するか、郵送にて請求してください。郵送の場合の請求方法は、下記のとおりです。

	払込取扱票のみ請求する場合	募集要項全体（払込取扱票・各種所定用紙を含む）を請求する場合
送付する封筒に記載すること	「大学院農学生命科学研究科払込取扱票請求」と朱書き	「大学院農学生命科学研究科学生募集要項請求」と朱書き
同封するもの	返信用封筒：角形2号（A4サイズが入る大きさ） 返信先の郵便番号、住所、氏名を記載	
	140円分の切手を貼付（速達を希望する場合は440円分の切手）	320円分の切手を貼付（速達を希望する場合は620円分の切手）
請求先	弘前大学学務部入試課 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 TEL 0172-39-3973・3193 FAX 0172-39-3125	

農学生命科学研究科ホームページ

農学生命科学研究科に関する詳しい情報が掲載されています。

URL: <https://nature.hirosaki-u.ac.jp/graduateschool/master/>

問い合わせ先一覧

事項	担当名	電話
○入学試験に関すること	入試課・大学院担当	0172-39-3973・3193
○入学料・授業料免除申請に関すること	学生課・経済支援担当	0172-39-3117・3135
○学生寮に関すること	学生課・課外教育担当	0172-39-3107
○教務に関すること	農学生命科学部（教務担当）	0172-39-3752